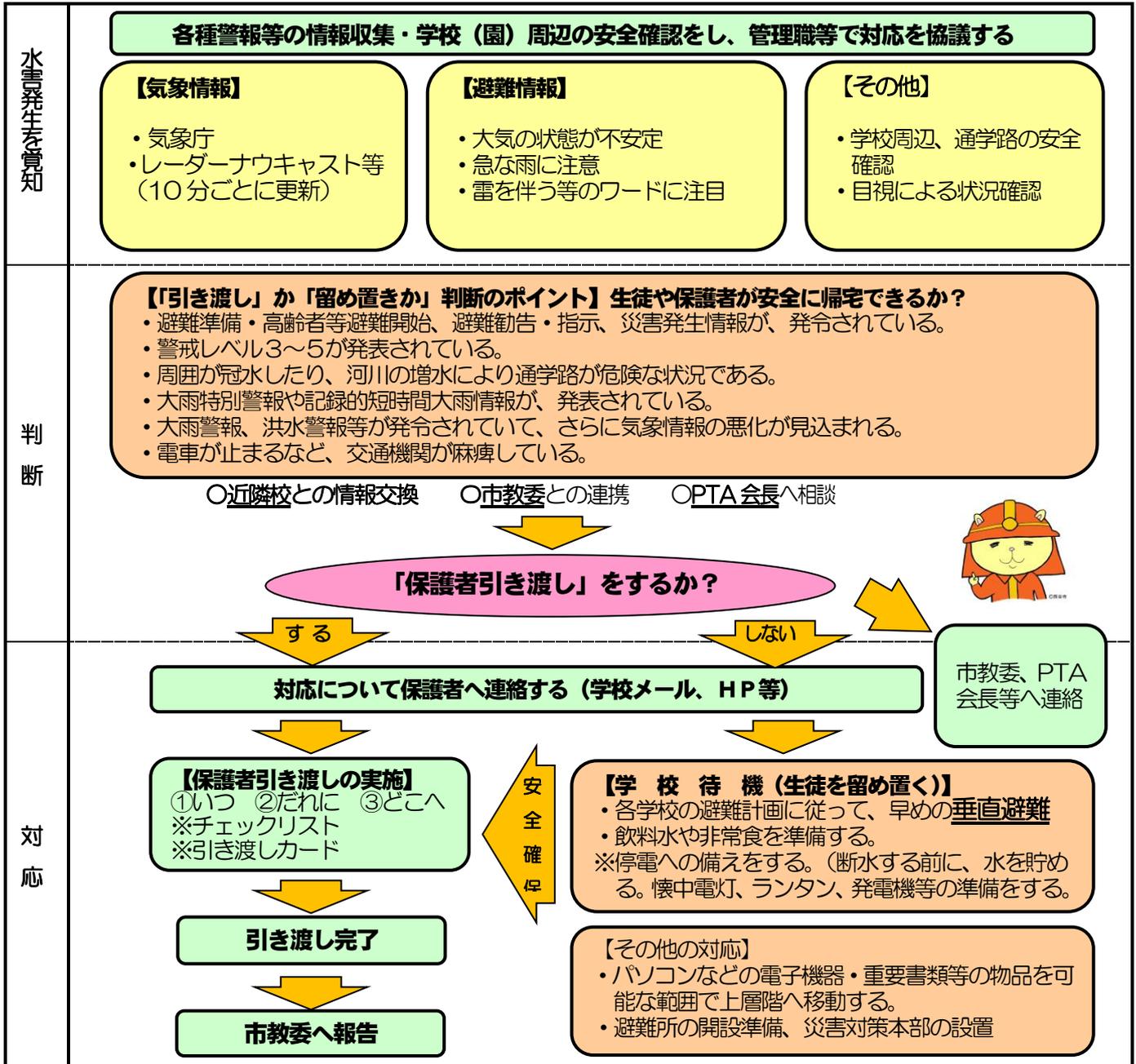




- 1 平時より各自治体のハザードマップなどで浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の危険な場所を確認しておく。
- 2 台風等の進路・進度からある程度の可能性を絞り込み、前日までに対応の概要を家庭に周知しておく。
- 3 休業等の決定の流れについては、「大雪対策ガイドライン」を参考にする。市教委と相談の上、校長が決定する。
- 4 在校時、水害が発生した場合は、安全が確認されるまでは、児童生徒を待機させることを基本とする。
【生徒在校時】



備考

※ 地域の自治会や学校応援団等と連携を図り、学校すぐメールだけでなくその他の連絡方法も確認する。



【登校前（授業日・部活動時等）】

- 1 雷鳴・雷光 → 自宅待機（各家庭及び生徒の判断）
- 2 学校メール配信又は部活動連絡網（登校時刻や部活動開始時間又は活動中止の連絡等）

【登校時（徒歩・及び自転車乗用中）】

この内容は、生徒にも伝える。

- 1 雷鳴・雷光 → 避難（安全な建物や民家等の屋内）
※木の下や木の近くには避難しない ※急いで学校に行かない
※家の軒先や外壁は雷の通り道なので危険
※近くに避難する場所がない場合はしゃがむなど、低い姿勢をとる
- 2 家庭又は学校への連絡（避難先に依頼）
- 3 登校再開（雷鳴・雷光がなくなってから20分経過後）

こども110番の家や、
通学路沿いの民家等に
避難させてもらう。

【活動時及び下校時】

- 1 雷鳴・雷光 → 活動中止・避難（教室又は体育館）
※授業時等：各教室に避難及び待機
※部活動時：各所属部で避難及び待機
野 球：2年2組 ラグビー：3年1組 ソフトテニス：1年1組
バレー：3年2組 剣 道：2年1組 卓 球：少人数教室A
箏曲：音楽室・美術：美術室
- 2 留め置き又は引き渡し判断（学校）
- 3 学校メール配信（学校メール・ホームページ）
- 4 引き渡し
※自動車誘導：各学年1名
※生徒引き渡し：各学年1名（チェックリストの活用・時間・引取者）
- 5 下校（雷鳴・雷光がなくなってから20分経過後）
- 6 下校指導（通学路確認を含む）

的確な判断と冷静な行動